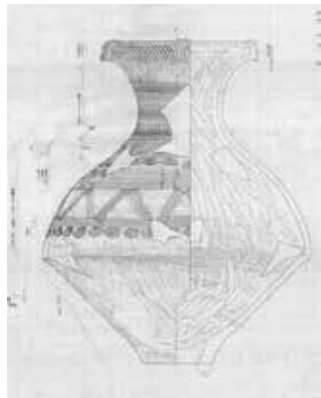




◀小松式土器の実測作業

12年と2回にわたり出品しています。見つかった資料は、土器、石器、木器など出土量は膨大で、全国初の出土品もありました。10年以上にわたる資料の整理作業は、種別ごとに担当が付いて行いました。

土器の紋様から製作時の痕跡を読み取り、分類する。細やかな実測作業



▶八日市地方遺跡出土品

を通して土器を観察。水漬け木製品は観察カードを作成してから分類作業を行いました。そして、小さな碧玉片に全て記名作業を行った上で分類して、管玉製作工程を読み取りました。

八日市地方遺跡は、土器、木器、石器の観察だけでなく、種子や花粉の分析、年代測定まで多岐にわたる分析を繰り返しました。

その成果は、第一線で活躍する著名な先生を招き、数回にわたるフォーラムを通じて、発信してきました。

こうした取り組みの中で、平成23年弥生時代集落一括としては、全国初の重要文化財指定を受けることになりました。

石川県立歴史博物館 夏季特別展 発掘された日本列島2018

会 期 8月4日(土)～9月9日(日)

ところ 石川県立歴史博物館

〒920-0963 金沢市出羽町3番1号

内 容

全国5カ所を巡回し、近年発掘された遺跡や調査成果がまとまった注目の遺跡を速報で展示します。

石川県内でも、全国を巡回する中核展示に加えて、県内遺跡の調査成果をまとめて紹介する地域展示「いしかわ歴史発掘」も同時開催。昨年、八日市地方遺跡発掘調査から見つかった柄付き鉄製ヤリガンナが公開されます。

観覧料 一般800円

高校生以下無料

問い合わせ 石川県立歴史博物館 ☎076・262・3236



写真提供:石川県埋蔵文化財センター

夏季特別展 小松ふたつの重要文化財

会 期 9月17日(月・祝)まで

ところ 埋蔵文化財センター

内 容

小松市が保有する2つの重要文化財(考古資料)を紹介します。

矢田野エジリ古墳出土埴輪は、当時では珍しく埴輪全点一括、八日市地方遺跡出土品は、弥生時代集落一括として全国初の指定を受けたものです。八日市地方遺跡出土品は、優品の木製品を中心に、矢田野エジリ古墳は修復した埴輪全点を出品しています。

観覧料 100円、高校生以下無料

(ミュージアムパス対象施設)

問い合わせ 埋蔵文化財センター ☎47・5713



ふたつの 重要文化財特集

小松市には、重要文化財(考古資料)として2つの遺跡の出土品があります。それらの重要文化財指定にまつわるエピソードを紹介します。

矢田野エジリ古墳出土円筒埴輪

問い合わせ 埋蔵文化財センター ☎47・5713



発掘調査の様子

矢田野エジリ古墳は、昭和63年、矢田野町(春日町)の宅地造成で発見されました。墳丘や埋葬施設はすでに削り取られていて、調査は古墳の周りを巡る周溝だけで、細かく割れた膨大な数の埴輪片が見つかりました。出土した破片を分類して接合していくと、なんと、2個の馬と11個の人物の形が出来上がりました。失われてしまった部分も多く、全てのパーツが揃っているわけではありません。微妙な色の違いや成形時の痕を手掛かりに、地道な接合作業が行われました。この接合作業の成果として、矢田野エジリ古墳の円筒埴輪作りには、10人の工人が携わっていた可

矢田野エジリ古墳出土埴輪



馬形埴輪の破片とその復元作業▶



能性を導き出しました。

こうした古墳時代における埴輪製作の様子を解明した矢田野エジリ古墳出土埴輪は、平成9年、人物や馬といった形象埴輪だけではなく、埴輪片全てが重要文化財指定を受ける形となりました。



発掘調査の様子

八日市地方遺跡の発見は、昭和5年と古く、戦前までさかのぼります。その後、小規模な発掘調査が複数回行われた後、平成5年には、小松駅東土地区画整理事業に伴い、大規模な発掘調査が実施されました。遺跡の広がりや内容は、当初の予想をはるかに超えるものでした。集落の中央に流れる川跡、それに沿うように居住域と碧玉製管玉の製作工房、木器加工場。更にそれを取り巻くように、濠と墓域が展開します。遺跡は、北陸随一の弥生時代中期における環濠集落であることが判明し、調査開始から、数多くの出土品が報道・紹介されました。全国巡回展『発掘された日本列島』には、平成9年、

八日市地方遺跡出土品